

「コロナ感染の拡大と医療体制の逼迫を招く東京オリンピック・パラリンピックの開催強行に抗議します」

私たち西小倉めぐみ教会は、小さな教会です。重い病や障がいを抱える人、ひきこもりがちな若者、そしてその家族が多く集っています。

コロナ感染拡大のなかで、いったいどうしたらそれぞれが孤立しないかを悩み、ひとりひとりの命の尊厳について考えてまいりました。

いま日本政府は、ひとりの命よりもオリンピックを優先してこれを強行しようとしています。またこの混乱にまぎれ、沖縄辺野古基地建設や福島第一原発事故汚染水の放出など推し進めています。

私たちはひとりひとりの命を大切にする立場から、以下の抗議声明をいたします。

一、私たちは、さらなるコロナ感染の拡大と医療体制の逼迫を招く東京オリンピック・パラリンピックの開催強行に抗議します。

一、そんなどさくさの中で、米軍基地・自衛隊等周辺1キロの土地等の利用を規制する「重要土地等調査規制法」を成立させたことに抗議します。

一、併せて、9条をはじめとした憲法改悪のうごきに抗議します。

2021年7月15日

宗教法人日本基督教団 西小倉めぐみ教会  
教会員一同  
代表役員(牧師) 棚谷直巳